

地域おこし協力隊が行く!

2021.8
Vol.51

隊員インタビュー

7月に北御牧庁舎の前に
サンドアート「馬に乗る少年」を制作した、
堀田光彦隊員にインタビューしました!

堀田 去年の5月に同じ場所で作った馬と女神の像が約1年経って、自然と壊れてきたため、新しい作品を作りたいという声をいただいていた。そこで、新しいテーマで作品を作ろうと思い、地域の企業の方や個人の方々に今回の趣旨を説明

堀田 馬は、北御牧にゆかりのある日本在来馬をモデルにしています。子どもの像には、明るい未来と希望への思いを込めています。子どもが元気に未来へ向かって指をさして、北御牧にゆかりのある馬に乗って駆けていく……。そんなイメージで作りました。



堀田 光彦 隊員

(文化振興支援)
彫刻家。東京都出身。東京芸術大学大学院修了。2019年から東御市在住。

堀田 そうなんです。砂を削りすぎてしまうと
小林 間違えたり、デッサンが狂ってもやり直せないんですか?



上部から徐々に下に向かって完成させていく

させていただき、賛同してくださった方々から協賛をいただいて制作しています。
小林 制作の順番は、上から下に向かって部分的に完成させていくんですね!
堀田 そうです。サンドアートは砂と水だけで作るの、上から作って下に降りていくんです。途中で上に登って作業したりとかできないんですよ。なので、上から完成させたらだんだんと型枠を外して下に降りていくという流れでやっています。

堀田 隊員は東御市で様々な像を作っていますが、どんな思いで取り組んでいるんでしょうか?

堀田 彫りかけの途中のところ、雨が当たってしまうと、跡がついてしまうので大変でした。仕上がったところは崩れないように、表面にコーティングをして守っています。

堀田 梅雨の時期で制作が大変ではなかったですか? (制作は6月末から7月上旬)
小林 日。その後、私が1人で行く彫刻の作業は約1週間です。

堀田 土台の施工には約3日。その後、私が1人で行く彫刻の作業は約1週間です。
小林 25トン! 大量の砂ですね。制作期間はどのくらいなんですか?

堀田 4段重ねの木枠の中に約25トンぐらいの砂を使用しています。
小林 砂はどのくらい使っているんですか?

堀田 私、基本的には元に戻せないで、慎重にやらないといけません。作品自体のサイズが大きいので、時には大胆に攻めていかないとつまづいても終わりません。そこがなかなか難しいところです。



現在は完成しているのでぜひご覧ください

堀田 私の地域おこし協力隊としてのミッションは、毎年10月開催の「天空の芸術祭」の企画・運営です。ただ、私自身も1人の彫刻家として、作品の制作過程や完成した作品を見ていただいてもっと文化や作品を身近に感じていただきたいと思っています。

堀田 最後に、制作を通して御市の人に伝えたいですか?
小林 この作品を見ていただいて、少しでも気持ち明るくなったり、普段と違う気持ちになっていただけたらしたら、それだけで嬉しいです。

堀田 作品の迫力から、思えます! ありがとうございます。

堀田 私の地域おこし協力隊としてのミッションは、毎年10月開催の「天空の芸術祭」の企画・運営です。ただ、私自身も1人の彫刻家として、作品の制作過程や完成した作品を見ていただいてもっと文化や作品を身近に感じていただきたいと思っています。

編集担当・地域おこし協力隊 小林